

唐津市立北波多小学校だより

# いっしょうけんめい

令和元年12月9日

No.14

文責：校長 松野博文



【本校の教育目標】 一生懸命がかっこいい！みんなの夢に一步前進！

～ 笑顔いっぱい！一人一人のよさが輝く学校 ～

## 一生懸命なカッコいい姿がたくさん見られました！（12/7 持久走大会）

12月7日（土）、天気にも恵まれ、全学年の持久走大会を予定通り開催しました。

開会式で私は、「マラソンや持久走は、自分との競走です。体育の時間やマラソンタイムでたくさん練習してきましたが、その時と比べて、今日が1番がんばったら、それは自分の中で1番ということです。学年で何番かは、関係ありません。『今日が自分の中で1番がんばったぞ！』と言えるように走ってください。」という話をしました。

持久走は、きついです。正直に言うと私も子どもの頃、あまり好きではありませんでした。途中で「やめたいなあ。気分が悪くなったって言おうかな。」という気持ちになったのも多々あります。ただ、走り終わった後は「終わった」という安堵感というか達成感というか、何とも言えないようなさわやかな気持ちになりました。もちろん無理をしてはいけませんが、参加してくれた子どもたち全員に「できれば完走して、そのような気持ちを味わってほしい。」という思いで見っていました。



結果、1年生から6年生まで参加した子どもたちは、見事全員完走しました。よかったです。走り終わった後、晴れやかな素晴らしい子どもたちの顔をたくさん見ることができました。「がんばった！これまでで1番がんばった！」という満足感を感じてくれた子もたくさんいたことでしょう。中にはゴールして悔し涙を流していた子もいました。もしかしたら自分なりの目標に届かなかったのかもしれませんが、それはそれで素晴らしいことです。この経験を次につなげてほしいと思います。

この日、学校評議員の方々にも持久走大会の様子を見ていただきましたが、「どの子も一生懸命走っていた。」「見ている子の応援の声が元気で、他の学年の子との縦のつながりが感じられた。」「1年生がコースを外れようとした時、上級生がさりげなく誘導している姿にやさしさを感じた。」といった感想をいただきました。見に来ていただいた、たくさんの家の方や地域の方はどのように感じられたでしょうか。

最後になりましたが、PTAの環境保体部の皆さんには、学校外のコースに立って、子どもたちを見守っていただきました。おかげで子どもたちが安全に走ることができました。本当にありがとうございました。